



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 セレンディップ・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7318 URL <https://www.serendip-c.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 在
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 小谷 和央 TEL 052 (22) 5306
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,249	△8.1	△51	—	△64	—	△11	—
2022年3月期第1四半期	3,535	—	116	—	114	—	94	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △81百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 245百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△2.54	—
2022年3月期第1四半期	28.27	25.68

- (注) 1. 当社は、2021年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
 2. 2021年6月24日に東京証券取引所マザーズ（現グロース市場）に上場したため、2022年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2022年3月期第1四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
 3. 2023年3月第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	15,146	4,449	28.8
2022年3月期	15,684	4,568	28.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 4,359百万円 2022年3月期 4,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,592	12.9	366	87.8	269	49.9	280	40.0	63.58

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 1株当たり当期純利益の予想数値の算出に使用した発行済株式総数は、現在予想される期中平均株式数であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	4,550,320株	2022年3月期	4,550,320株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	154,180株	2022年3月期	109,580株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	4,428,089株	2022年3月期1Q	3,344,525株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響及び半導体をはじめとした部品・原材料の供給不足や供給網の混乱など先行き不透明な状態が続いております。

当社グループの事業領域である中堅・中小企業の「事業承継（投資）」におきましては、中堅・中小企業の事業承継問題が深刻化する中で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済・社会活動が停滞したことに後押しされ、事業承継手段としてのM&Aニーズ（譲渡ニーズ）が一段と増加いたしました。

一方、当社グループのもう一つの事業領域である「モノづくり（経営）」におきましては、新型コロナウイルス感染症の変異株の拡大による影響や、半導体を中心とした部品供給の停滞によるサプライチェーンへの影響等により、自動車メーカーの生産計画見直しによる減産の影響を受け減収となりました。

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大以前から経営執行にコミットしたプロ経営者をチームで派遣し現場・財務・経営の見える化を徹底し、バックオフィスの生産性向上や製造現場での幅広いITの活用に取り組み、ムダ・ムリ・ムラの排除を実施してまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結業績は、自動車メーカーの減産等の影響により売上高は前年同四半期に比べ286,014千円減少し、3,249,891千円（前年同四半期比8.1%減）、営業損失は、51,251千円（前年同四半期は、営業利益116,877千円）、経常損失64,012千円（前年同四半期は、経常利益114,119千円）、特別利益に「保険解約返戻金」9,980千円、「受取保険金」138,760千円、特別損失に「役員特別功労金」30,000千円等を計上したため親会社株主に帰属する四半期純損失は、11,260千円（前年同四半期は、親会社株主に帰属する四半期純利益94,539千円）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

（プロフェッショナル・ソリューション事業）

当セグメントには、当社及びセレンディップ・テクノロジーズ株式会社が含まれております。

プロ経営者派遣におきましては、事業承継課題を抱える中堅・中小企業が今後益々増加していく社会的背景があり、中堅・中小モノづくり企業から事業承継案件、事業再生案件の当社への持ち込みが増加しております。

経営コンサルティングにおきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により大手製造メーカーの生産活動停滞等を受け、その仕入先である中小製造業の業績が悪化しており、当該企業並びに支援金融機関からの経営改善支援に対するニーズが増加しております。また、DXに対する各社の取り組みの本格化、中堅・中小企業の基幹システムの再構築需要の増加に伴い、ITコンサルティングのニーズも増加しております。経営課題を抱える中堅・中小企業の課題解決・成長に更に寄与するための積極的な人材採用により人件費や採用費等が増大したことに加え、事業拡大のための本社移転に伴う費用が発生したことが当セグメントの減益要因となっております。

エンジニア派遣におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞による稼働率の低下等が改善され、回復基調にあります。中堅・中小企業の成長を支援するため、経営基盤の強化、経営効率の合理化を徹底し、新しいIoTソリューションの開発とDXに注力しております。

この結果、当セグメントの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は前年同四半期に比べ10,846千円減少し、285,922千円（前年同四半期比3.7%減）、セグメント損失37,792千円（前年同四半期はセグメント損失15,182千円）となりました。

（インバストメント事業）

当セグメントには、セレンディップ・フィナンシャルサービス株式会社が含まれております。

前連結会計年度より、事業承継問題に機動的に対応すべく、上場後を見据えた案件の発掘・開拓に注力して参りました。上場後も、従来から構築してきた金融機関等との業務提携により、モノづくり企業を中心とした再生型事業承継支援サービス、フィナンシャル・アドバイザー等の企業経営サポートを積極的に進めております。営業力の強化に加え、より一層サービス力を強化し、複数の進行中の業務提携先からの紹介案件に対応するための先行費用としての人件費等が増加いたしました。

この結果、当セグメントの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は前年同四半期に比べ5,216千円減少し、2,450千円（前年同四半期比68.0%減）、セグメント損失23,864千円（前年同四半期はセグメント損失16,113千円）となりました。

（モノづくり事業）

当セグメントには、三井屋工業株式会社、佐藤工業株式会社及び天竜精機株式会社のモノづくり企業が含まれております。

自動車内外装部品製造、自動車精密部品製造におきましては、半導体供給不足や供給網の混乱に伴う自動車メー

カーの生産計画見直しによる減産の影響を受け減収・減益となりました。

F A装置製造におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は残るものの、主要顧客の設備投資活動の再開により受注は回復傾向にあり、増収・増益となりました。

この結果、当セグメントの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は前年同四半期に比べ274,254千円減少し、3,064,252千円（前年同四半期比8.2%減）、セグメント利益は前年同四半期に比べ137,768千円減少し、10,404千円（前年同四半期比93.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ484,715千円減少し、6,496,884千円となりました。これは主に、現金及び預金が278,729千円減少したこと、未収入金が83,837千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ53,315千円減少し、8,649,665千円となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価等により投資その他の資産合計が101,448千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は15,146,549千円となり、前連結会計年度末と比べ538,030千円の減少となりました。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ280,387千円減少し、4,466,562千円となりました。これは主に、返済期限が1年以内に到来する長期借入金を振替えたことにより、1年内返済予定の長期借入金が83,308千円増加した一方で、支払手形及び買掛金が390,882千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ138,606千円減少し、6,230,213千円となりました。これは主に、長期借入金が117,388千円減少したこと、投資有価証券の時価評価したことにより繰延税金負債が14,386千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は10,696,776千円となり、前連結会計年度末に比べ418,994千円の減少となりました。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ119,036千円減少し、4,449,773千円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が71,789千円減少したこと、自己株式の取得による減少32,161千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第1四半期会計期間において、保険金の受取りにより受取保険金を特別利益に計上したため通期連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2022年8月10日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,582,007	3,303,278
受取手形、売掛金及び契約資産	2,358,070	2,298,167
営業投資有価証券	40,000	40,000
商品及び製品	28,338	74,355
仕掛品	104,975	111,165
原材料及び貯蔵品	335,782	288,826
未収入金	379,331	295,494
その他	153,094	85,596
流動資産合計	6,981,599	6,496,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,777,023	3,812,820
機械装置及び運搬具	4,894,024	4,896,512
工具、器具及び備品	8,358,700	8,655,635
土地	2,148,447	2,148,447
リース資産	399,301	399,301
建設仮勘定	179,340	105,940
減価償却累計額	△13,904,165	△14,123,719
有形固定資産合計	5,852,672	5,894,936
無形固定資産		
のれん	58,303	54,761
無形資産	26,250	24,500
リース資産	7,293	6,451
ソフトウェア仮勘定	5,637	15,450
その他	71,426	73,616
無形固定資産合計	168,911	174,780
投資その他の資産		
投資有価証券	2,137,921	2,028,939
保険積立金	230,540	198,593
繰延税金資産	96,338	123,764
長期営業債権	274,824	306,912
その他	217,396	229,451
貸倒引当金	△275,624	△307,712
投資その他の資産合計	2,681,396	2,579,948
固定資産合計	8,702,980	8,649,665
資産合計	15,684,580	15,146,549

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,182,868	1,791,985
短期借入金	927,000	920,000
1年内返済予定の長期借入金	577,843	661,151
リース債務	49,937	48,584
未払金	211,865	276,549
未払費用	125,738	136,191
前受金	70,871	69,354
未払法人税等	47,207	71,101
未払消費税等	99,312	80,570
賞与引当金	196,146	212,562
製品保証引当金	6,650	6,570
受注損失引当金	5	2,984
設備関係支払手形	216,023	128,602
その他	35,482	60,355
流動負債合計	4,746,950	4,466,562
固定負債		
長期借入金	5,153,862	5,036,474
リース債務	150,415	138,517
資産除去債務	16,017	26,167
退職給付に係る負債	232,195	227,111
繰延税金負債	816,329	801,942
固定負債合計	6,368,820	6,230,213
負債合計	11,115,770	10,696,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,114,030	1,114,030
資本剰余金	1,999,730	1,999,730
利益剰余金	869,278	858,017
自己株式	△13,544	△45,705
株主資本合計	3,969,495	3,926,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	504,814	433,025
その他の包括利益累計額合計	504,814	433,025
非支配株主持分	94,500	90,675
純資産合計	4,568,809	4,449,773
負債純資産合計	15,684,580	15,146,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	3,535,905	3,249,891
売上原価	2,922,336	2,818,411
売上総利益	613,568	431,479
販売費及び一般管理費	496,691	482,731
営業利益又は営業損失(△)	116,877	△51,251
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	30,341	28,179
為替差益	-	31,524
雇用調整助成金	14,166	721
その他	8,693	11,490
営業外収益合計	53,202	71,916
営業外費用		
支払利息	26,906	23,159
貸倒引当金繰入額	-	32,087
営業外支払手数料	3,597	1,675
訴訟関連費用	10,789	26,336
株式公開費用	13,600	-
その他	1,065	1,418
営業外費用合計	55,960	84,677
経常利益又は経常損失(△)	114,119	△64,012
特別利益		
補助金収入	571,876	-
保険解約返戻金	-	9,980
受取保険金	-	138,760
特別利益合計	571,876	148,740
特別損失		
固定資産売却損	-	183
固定資産除却損	0	0
固定資産圧縮損	563,176	-
役員特別功労金	-	30,000
特別損失合計	563,176	30,183
税金等調整前四半期純利益	122,818	54,544
法人税、住民税及び事業税	28,815	69,299
法人税等調整額	△1,661	△4,619
法人税等合計	27,153	64,679
四半期純利益又は四半期純損失(△)	95,664	△10,135
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,125	1,125
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	94,539	△11,260

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	95,664	△10,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149,754	△71,789
その他の包括利益合計	149,754	△71,789
四半期包括利益	245,419	△81,924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,294	△83,049
非支配株主に係る四半期包括利益	1,125	1,125

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第165条第1項の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式44,600株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が32,161千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において45,705千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	プロフェッショナル・ソリューション事業	インベストメント事業	モノづくり事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	189,730	7,666	3,338,507	3,535,905	—	3,535,905
セグメント間の内部売上高又は振替高	107,038	—	—	107,038	△107,038	—
計	296,768	7,666	3,338,507	3,642,943	△107,038	3,535,905
セグメント利益又は損失(△)	△15,182	△16,113	148,172	116,877	—	116,877

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	プロフェッショナル・ソリューション事業	インベストメント事業	モノづくり事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	185,138	500	3,064,252	3,249,891	—	3,249,891
セグメント間の内部売上高又は振替高	100,784	1,950	—	102,734	△102,734	—
計	285,922	2,450	3,064,252	3,352,625	△102,734	3,249,891
セグメント利益又は損失(△)	△37,792	△23,864	10,404	△51,251	—	△51,251

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。